

The background image shows a young woman with dark hair in a ponytail, wearing a pink long-sleeved shirt, leaning over a table. She is assisting an elderly woman with short white hair who is seated in a wheelchair. The elderly woman is wearing a light-colored patterned top. On the table in front of them is a white tray with several bowls and cups of food and drink. The scene is set indoors with a window in the background. The entire image is overlaid with a semi-transparent blue filter.

医療法人慈心会 栄養マネジメント強化加算の取り組み

施設の栄養ケアを科学的に、継続的に、高品質に

医療法人 慈心会（老健：寿恵苑）

令和7年度～令和8年度

令和7年11月

目次・全体像

栄養マネジメント強化加算の取
組み

1  制度の位置づけ

3  算定要件と管理体制

5  LIFEの活用

7  期待効果とQOL

2  背景と目的

4  管理栄養士の配置基準

6  慈心会の取り組み目標

8  今後の展望

栄養マネジメント強化加算とは

i 制度の概要

- ✓ 令和3年度介護報酬改定で新設された、施設の栄養ケア体制強化を評価する加算
- ✓ 対象：施設系サービスを中心に、栄養ケア・マネジメントの実施を要件化

📋 評価ポイント

- 🍴 ミールラウンドの定期的実施と記録
- 📄 個別の栄養ケア計画作成と定期的な見直し
- 🗄️ LIFE（科学的介護情報システム）への情報提出とフィードバック活用
- 🔄 PDCAサイクルによる継続的な栄養管理の質向上

¥ 算定単位

- ✓ サービス類型等により異なる（最新の告示・通知を参照）



制度の背景と目的

背景

- ⚠ 高齢者のフレイル・低栄養状態の増加
- 💓 重度化防止と在宅・施設の質向上の必要性
- 🗄 科学的介護（LIFE）への移行、チームケアの標準化（2021～）
- 📶 近年の方向性：ICT活用促進（2024～2025）、エビデンスに基づく改善の強化

目的

- 🍴 入所者の栄養状態の改善・維持
- 😊 QOL向上
- 🛡 低栄養関連の合併症予防（感染症、褥瘡など）
- 🍽 食の楽しみの再構築と個別性の尊重



算定要件と管理体制（全体設計）

必須要件の要点

- 📄 栄養アセスメントと個別の栄養ケア計画の作成・説明・同意
- 🍴 ミールラウンドの定期実施と記録
- 🗄️ LIFE（科学的介護情報システム）への情報提出とフィードバック活用
- 👥 多職種連携（医師・看護・介護・リハ・歯科・口腔・栄養）

管理体制の例

- 📅 栄養ケア委員会（月1回）／カンファレンスの定例化
- 📄 標準書式・記録ルール・監査チェックリストの運用
- 🎓 研修とOJT、事例検討での学習循環



PDCAサイクルで継続的改善



管理栄養士の配置基準と役割

配置基準の目安

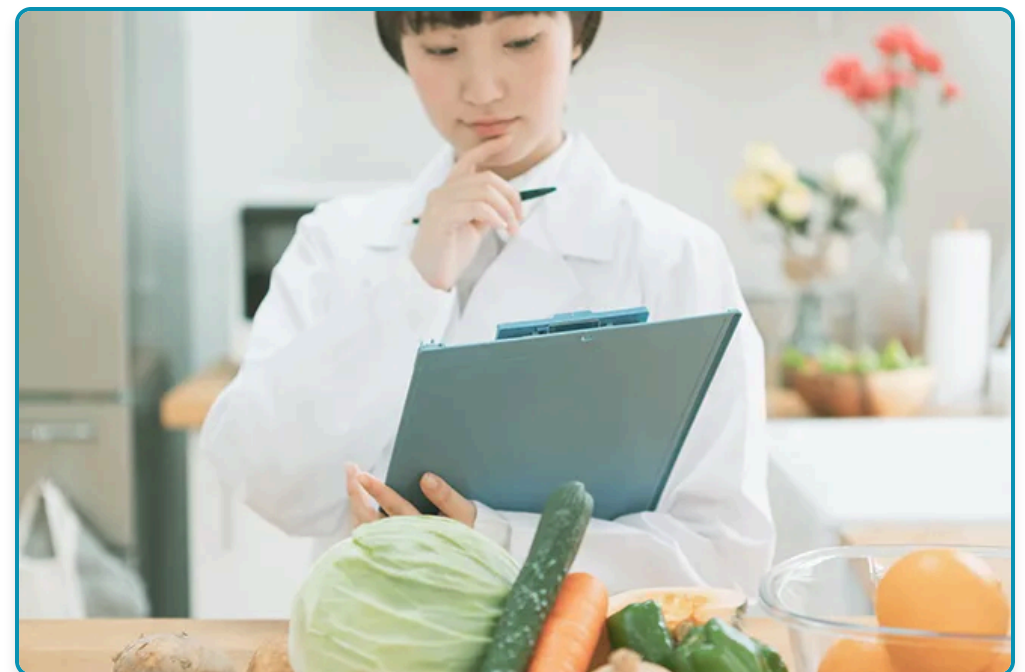
- ✓ 前年度の平均入所者50名につき管理栄養士1名以上（常勤換算）
- ✓ 非常勤の組み合わせ等で常勤換算を満たす運用が可能

主な役割

- 📋 栄養アセスメント、計画立案・同意、実施・モニタリング、再評価
- 🚶 ミールラウンド、嚥下・口腔との連携、嗜好・アレルギー対応
- 📊 LIFE提出・フィードバック分析、指標管理（KPI）

品質確保

- ⚙️ 資格証の管理、研修履歴の整備
- 👥 代行・バックアップ体制の構築



管理栄養士の配置基準



入所者50名



管理栄養士1名

管理栄養士の主要役割



栄養アセスメント



栄養ケア計画



ミールラウンド



LIFE提出・分析

LIFE（科学的介護情報システム）の活用

提出項目

- 体重・BMI、変化の記録
- 食事摂取量、栄養素等摂取状況
- 低栄養スクリーニング結果
- 嚥下・口腔機能情報

システム運用

- 提出スケジュールの統一（期限厳守）
- データの整合性チェック、入力エラー防止
- 個人情報保護対策、アクセス権限管理

ICTの活用

- 記録の電子化、タブレット端末活用
- ダッシュボードによる可視化
- 業務の標準化と効率化



LIFE活用サイクル



医療法人慈心会の取り組み目標（2025年度方針例）

KPI（重要業績評価指標）

📊 低栄養リスク者割合

前年対比 ▲X%

📈 体重5%以上減少者割合

前年対比 ▲X%

🍴 ミールラウンド実施率

100%／月

📄 LIFE提出期限遵守

100%

👥 多職種カンファレンス

月1回実施100%

📋 栄養ケア計画見直し

3か月ごと100%



shutterstock.com · 2219849513

計測指標と管理方法

- 📅 月次実績レポートによるKPI進捗管理
- 🕒 四半期ごとの評価会議と改善計画の策定
- 📊 LIFE提出データの分析と活用

栄養ケア質向上のための教育計画

- 🎓 新任向け基礎研修（栄養ケア・マネジメント基礎）
- 👥 事例検討会（低栄養改善・経口維持）
- 🦷 口腔・嚥下連携研修（多職種協働）
- 💻 LIFE活用スキルアップ研修
- 📋 栄養ケア記録の標準化と効率化研修

期待される効果とQOL向上

健康面の効果

- ✓ 低栄養・脱水・褥瘡・感染症のリスク低減
- ✓ 嚥下機能の維持・改善
- ✓ 適切な栄養摂取量の確保

生活の質の向上

- 🍴 食事満足度の向上
- ❤️ 個別嗜好・宗教・アレルギーへの対応
- 🤝 食の楽しみの回復と自立支援

運営・業務の効率化

- 📋 記録・提出業務の標準化と効率化
- 👥 多職種連携の強化と情報共有の促進
- 🛡️ ケアの質の均一化と安全性の向上



健康増進

低栄養リスクの低減と身体機能の維持・改善による健康寿命の延伸



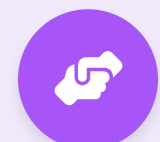
生活の質

食事を楽しむ喜びの回復と個別ニーズへの対応によるQOL向上



運営効率

データ活用と標準化による業務効率化と科学的根拠に基づくケアの実現



関係強化

ご家族の安心感向上と地域医療・歯科との連携強化による包括的支援

まとめと今後の展望

まとめ

栄養ケアの標準化×LIFE活用×多職種連携で、継続的に質を高める

強化ポイント

ICT活用の拡充（記録の電子化、ダッシュボード活用）

研修体系の整備（新任基礎研修、定期研修、専門研修）

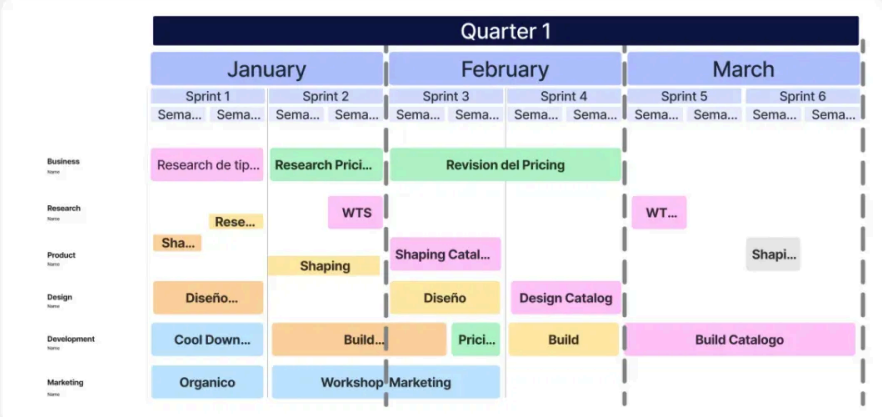
口腔・嚥下連携の深化（歯科医師・言語聴覚士との連携強化）

リスクマネジメント

監査・自己点検の定期実施と記録

ヒヤリハット情報の共有と分析による未然防止

BCP視点での在庫管理と非常食の整備



ロードマップの例

令和7年度 実装ロードマップ

第1
四半期

計画策定・体制整備

- 年度KPI設定
- 委員会体制見直し

第2
四半期

研修・標準化

- 管理栄養士研修
- 記録様式統一

第3
四半期

ICT導入・連携強化

- 電子記録導入
- 口腔連携構築

第4
四半期

評価・改善・次年度計画

- 成果分析
- 次年度計画策定